



産業建設委員会

委員長 福積章男

◆うかいの船頭育成事業について

問 事業内容について

答 船頭の高齢化、後継者不足の解消を図るために現役の船頭から研修を受けノウハウを得ることにより卓越した技術を継承し、船頭としての接遇や意識の向上、及び後継者の育成を図ることが目的である。

問 昼うかいについて

答 6月6日に昼うかいの開幕式を行い、8隻80

今年から始まった昼うかい



人の方に乗船していただき、現在までの予約状況は最終日までに34隻376人である。今後さらにPRを重ね、お客様の多様なニーズにお応えするため、アンケートをするなど改善を行う必要がある。大洲特産の食材を利用した弁当を提供するなど趣向をこらして、観光客の満足度を高め、リピーターの確保をめざし、関係者と協議していきいたいと考えている。

◆資源活用調査について

問 調査の目的について

答 資源の有効活用による地球温暖化防止をめざし、本市ではバイオマスダウン構想を策定する予定であるが、その策定準備に向け、燃料資源となる間伐材や食品廃棄物などのバイオマスの賦存量が大洲市にどれくらいあり、どのように利用するのが効果的であるかを調査する計画である。

◆企業誘致と地場産業展について

問 誘致活動について

答 現在、民間調査会社に委託し、最先端業種の企業209社を抽出して、立地についてのアンケート調査とパナソニック跡地の案内を行っている。今後1社ずつ電話で追跡調査を行ううえで、可能性のある企

業には、訪問を重ね、積極的に誘致活動を行う計画である。また県が東京において開催する予定の「えひめ産業立地フェア」に当市からも参加する予定である。

問 地場産業振興について

答 市長の市内企業訪問に加えて、今年度は新商品の開発や販路開拓に対する支援の一環として、市民に対して地場産品の認知度を高めていただくため、大洲市地場産業展を開催する計画である。

常任委員会行政視察

総務企画委員会

NPOによるコミュニティ機能の創出と地域活性化対策、災害弱者に対する防災点検及び緊急通報システム事業、防災学習交流センター事業について調査。(左写真は北海道千歳市防災学習交流センター)



厚生文教委員会

学校給食共同調理場整備事業(PFI事業)、保育所と障害児施設併設/地域密着多機能施設、子育て支援政策について調査。(右写真は山形県東根市学校給食共同調理場)

産業建設委員会

起業化支援センターとビジネスインキュベーター事業、グリーンツーリズムと定住促進事業、日本のふるさと再生特区、観光物産情報発信施設について調査。(左写真は岩手県花巻市起業化支援センター)

